

施策評価シート

施策等名称	あらゆる分野への男女共同参画の推進	体系番号	0602010102
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 茅野市男女共同参画基本条例に基づき、これまで2次にわたる「茅野市男女共同参画計画(はつらつプラン21)」により、男女共同参画社会の実現に向け、各施策を推進してきました。 性別による固定的な役割分担意識は徐々に減っていますが、地域・職場・家庭において多くの課題が残されており、継続した取組が求められています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	男女が対等な社会の構成員として能力を活かし、様々な視点や新たな発想を取り入れることができるよう、政策・方針決定過程への女性の参画拡大を働きかけます。また、国際社会との協調、多文化への相互理解と交流を進めます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	女性の役員を登用している区・自治会数	区	30	40
②	審議会・委員会等の女性委員登用率	%	28	35.00	
③	ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業参加者及び協力者数	人	71.00	80.00	80.00

施策の柱1	名称	方針等の決定過程への男女共同参画の推進		主管課	生涯学習課	
	詳細	住みよい豊かな地域コミュニティをつくり、地域力を高めていくため、男女が社会の対等な構成員として多様な能力を活かし、様々な視点や新たな発想を取り入れるための取組を進めます。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業
	1	女性の役員を登用している区・自治会数	区	30	40	1 男女共同参画推進事業
	2	区・自治会の全体の女性役員数	人	59	70	2
	3					3

基本政策間連携

施策の体系	名称	市における女性の参画の拡大		主管課	生涯学習課	
	詳細	市の審議会や委員会への女性の登用を一層進めます。また、市役所において、女性職員が活躍できる職場環境づくりを進めます。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業
	1	審議会・委員会等の女性委員登用率	%	28.00	35.00	1 男女共同参画推進事業
	2					2
	3					3

基本政策間連携

施策の柱3	名称	多文化共生社会の推進		主管課	生涯学習課	
	詳細	国際交流が進む中、男女共同参画に関する国際的な動向に関心を持ち、広い視野での男女共同参画を推進します。また、外国籍市民が安心して日常生活を送ることができるよう生活応援が必要です。なお、2019年度の評価からまちづくりの目標指標を変更します。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業
	1	ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業参加者及び協力者数	人	71	80	1 国際交流事業
	2	日本語教室への参加者年間延数	人	224	288	2 多文化共生推進事業
	3				360	3

基本政策間連携

施策等名称	あらゆる分野への男女共同参画の推進	体系番号	0602010102
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	女性の役員を登用している区・自治会数	30	27	18	33	32	-
		40	67.50	45.00	82.50	80.00	-
変動要因等	2018年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性の役員を登用している区・自治会数が増えないと考えられる。					
	2019年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性の役員を登用している区・自治会数が増えないと考えられる。					
	2020年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識はあると思われるが、昨年に比較し、女性の登用が増加している。					
	2021年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識があると思われ、登用数は昨年度より減少した。					
	2022年度	登用状況調査は、実施時期の見直しにより、今年度は女性役員の登用状況調査のみ実施。結果は次年度公表予定					
施策	審議会・委員会等の女性委員登用率	28	29	28	26	28	27
		35	82.86	80.00	74.29	80.00	77.14
変動要因等	2018年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が上がらないと考えられる。					
	2019年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が上がらないと考えられる。					
	2020年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が上がらないと考えられる。					
	2021年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が横ばい傾向となっている。					
	2022年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が横ばい傾向となっている。					
施策	ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業参加者及び協力者数	71.00	88.00	163.00	0.00	18.00	-
		80.00	110.00	203.75	0.00	22.50	-
変動要因等	2018年度	事業の周知や行事への協力を呼びかけたことにより、関係者の参加が増え、目標数を上回った。					
	2019年度	事業の周知や行事への協力を呼びかけたことにより、関係者の参加が増え、目標数を大幅に上回った。					
	2020年度	東京オリンピックと実施時期が重なり、航空チケット入手困難が予想されたため中止した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの交流とした。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。					
柱1	女性の役員を登用している区・自治会数	30	27	18	33	32	-
		40	67.50	45.00	82.50	80.00	-
変動要因等	2018年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性の役員を登用している区・自治会数が増えないと考えられる。					
	2019年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性の役員を登用している区・自治会数が増えないと考えられる。					
	2020年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識はあると思われるが、昨年に比較し、女性の登用が増加している。					
	2021年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識があると思われ、登用数は昨年度より減少した。					
	2022年度	登用状況調査は、実施時期の見直しにより、今年度は女性役員の登用状況調査のみ実施。結果は次年度公表予定					
柱1	区・自治会の全体の女性役員数	59	57	44	61	65	-
		70	81.43	62.86	87.14	92.86	-
変動要因等	2018年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性役員数が増えないと考えられる。					
	2019年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性役員数が増えないと考えられる。					
	2020年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識はあると思われるが、昨年に比較し、女性の登用が増加している。					
	2021年度	地域における慣習や性別による固定的役割分担意識はあると思われるが、女性の登用が増加傾向にある。					
	2022年度	登用状況調査は、実施時期の見直しにより、今年度は女性役員の登用状況調査のみ実施。結果は次年度公表予定					
柱2	審議会・委員会等の女性委員登用率	28.00	29.00	28.00	26.00	28.00	27.00
		35.00	82.86	80.00	74.29	80.00	77.14
変動要因等	2018年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が上がらないと考えられる。					
	2019年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が上がらないと考えられる。					
	2020年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が上がらないと考えられる。					
	2021年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、昨年度より上昇したが横ばい傾向となっている。					
	2022年度	慣習や性別による固定的役割分担意識が変わらないため、女性委員登用率が横ばい傾向となっている。					

施策等名称	あらゆる分野への男女共同参画の推進	体系番号	0602010102
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱3 1	ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業参加者及び協力者数	71	88	163	0	18	-
		80	110.00	203.75	0.00	22.50	-
変動要因等	2018年度	事業の周知や行事への協力を呼びかけたことにより、関係者の参加が増え、目標数を上回った。					
	2019年度	事業の周知や行事への協力を呼びかけたことにより、関係者の参加が増え、目標数を大幅に上回った。					
	2020年度	東京オリンピックと実施時期が重なり、航空チケット入手困難が予想されたため中止した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの交流とした。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。					
柱3 2	日本語教室への参加者年間延数	224.00	223.00	132.00	114.00	128.00	321.00
		288.00	77.43	45.83	39.58	44.44	111.46
変動要因等	2018年度	技能実習生等、働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと考えられる。					
	2019年度	働いている方の参加が多いが、勤務が不規則であり、毎回の参加が難しいと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本語教室の開催を中止したため、参加者が減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない日もあり、参加者が減少した。					
	2021年度	感染症の流行の影響により開催できない日もあったが、参加者は増加した。					
	2022年度	定期的に開催できるようになり、参加者は大幅に増加した。					

施策等名称	あらゆる分野への男女共同参画の推進	体系番号	0602010102	
		主管課	生涯学習課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	4,344,407	3,845,796	1,135,919	1,438,712	1,453,184
	うち一財(円)	4,344,407	3,845,796	1,135,919	1,438,712	1,453,184
	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)		・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議や行事等を中止したため、前年度に比べ事業費が減った。	・オリンピックの開催に伴う事業の縮小と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議や行事等を中止したため、前年度に比べ事業費が減った。	・ロングモント交流事業を中止したことにより経費減となったが、5年ごとに行う男女共同参画調査の実施により事業費が増となった。	
進捗評価		やや遅れている	おおむね順調	おおむね順調	おおむね順調	おおむね順調
評価	主な取組内容や成果	・区・自治会長を対象に、区・自治会の女性役員の登用状況や意識調査を行い、結果について公表した。 ・幼い頃からの意識づくりが大切との観点から、茅野市男女共同参画推進大会の内容を決定し実施した。	・区・自治会長を対象に、区・自治会の女性役員の登用状況や意識調査を行い、結果について公表した。 ・ホームステイ交流事業では、学校訪問や行事を通じ、英語による積極的な交流ができた。また、交流の中で、お互いの考えや文化を尊重し、理解しようとする姿勢が深まった。	・区・自治会長を対象に、区・自治会の女性役員の登用状況や意識調査を行い、結果について公表した。昨年と比べ増加した。 ・日本語教室については、新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月の開催を中止したため参加者数が減少した。	・区・自治会長を対象に、区・自治会の女性役員の登用状況や意識調査を行い、結果について公表した。女性役員数が増加した。 ・ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業は中止したが、2019年に現地交流を行った両市の学生達でオンライン交流会を実施した。	(R4評価)女性役員登用状況を調査し啓発を行った。 ・日本語教室は、開催できるようになり参加者が増加した。(総括評価)コロナ禍で、実施できない事業があったが、「区・自治会の女性役員登用状況調査」を例年実施することで、地域活動には、多様な担い手が必要であることを意識啓発した。
	課題	・長い時間の中で形成された性別による役割分担意識を変えるためには、継続した啓発活動が必要である。 ・茅野市男女共同参画推進大会の参加者を増やすためには、内容の検討が必要である。 ・市民に対し、男女共同参画を考える機会を提供し、情報発信していくことが必要である。	・市民に対し、男女共同参画を考える機会を提供し、情報発信していくことが必要である。 ・交流事業では、来訪団の希望やホストファミリーの事情にも配慮しながら、行事を計画する必要がある。	・長い時間の中で形成された性別による役割分担意識を変えるためには、継続した啓発活動が必要である。 ・男女共同参画を推進するために、例年人を集める形式で大会を開催してきたが、今後は推進大会の開催のあり方を内容を含め検討する必要がある。 ・ホームステイと受け入れを交互に行っているが、関係性が薄れることが課題である。	・ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業の現地交流が複数年に渡って途切れることにより、経験者が減り、つながりが希薄になることが課題である。 ・市民に対し、男女共同参画が身近なものとして捉えてもらうよう、情報発信していくことが必要である。	(R4・総括評価共通) ・長い時間の中で形成された性別による役割分担意識を変えるためには、継続した啓発活動が必要である。 ・男女共同参画を推進するためにどのような取組が有効なのか検討課題。
改革・改善	改革・改善内容	・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。 ・茅野市男女共同参画推進大会は毎年開催するため、その年の目標を定め、対象者や内容を検討する。	・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。 ・交流事業では、派遣生徒がロングモント市において、積極的に交流できるように、事前研修の内容を検討し実施する。受入れにおいては、多くの方が関係するため、定期的に情報共有し、安全に事業を実施する。	・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。 ・茅野市男女共同参画推進委員会において、今後の男女共同参画推進大会のあり方について検討する。	・コロナ禍においても両市がつながれる手段として、オンラインによる交流を国際交流団体と検討する。 ・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。	・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。 ・男女共同参画を推進するためにどのような取組が有効なのか、また、対象者や内容について検討する。
	重点化する施策の柱	1	1	1	1	1
	重点事務事業	1	1	1	1	1
理由	・地域の中には、根強い性別による役割分担意識があり、意識や組織のあり方を変えていくためには時間がかかる。地域や区・自治会に男女共同参画の意識を浸透させるためには継続した啓発活動が必要である。	・地域の中には、根強い性別による役割分担意識があり、意識や組織のあり方を変えていくためには時間がかかる。地域や区・自治会に男女共同参画の意識を浸透させるためには継続した啓発活動が必要である。	・地域の中には、根強い性別による役割分担意識があり、意識や組織のあり方を変えていくためには時間がかかる。地域や区・自治会に男女共同参画の意識を浸透させるためには継続した啓発活動が必要である。	・地域の中には、根強い性別による役割分担意識があり、意識や組織のあり方を変えていくためには時間がかかる。地域や区・自治会に男女共同参画の意識を浸透させるためには継続した啓発活動が必要である。	・地域の中には、根強い性別による役割分担意識があり、意識や組織のあり方を変えていくためには時間がかかる。地域や区・自治会に男女共同参画の意識を浸透させるためには継続した啓発活動が必要である。	